

平成30年 第5回伊那地域協議会会議録

開催日	平成30年12月14日(金)											
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後8時00分						
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール											
委員の出欠 出席27名 欠席12名		委員氏名				委員氏名				委員氏名		
	1	御子柴 春樹	出	16	八幡 孫之	出	31	久保田 直樹	出			
	2	原 猛文	出	17	飯沼 厚史	欠	32	櫻井 智	欠			
	3	竹前 進	出	18	平嶋 真	出	33	網野 美和子	欠			
	4	中山 昭	欠	19	大沼 明夫	出	34	平澤 彩	欠			
	5	原 壯内	欠	20	伊藤 哲寛	出	35	河上 由香	欠			
	6	福沢 雄司	出	21	網野 隆志	欠	36	小林 建正	出			
	7	武田 修平	出	22	板倉 倫顯	出	37	平賀 裕子	出			
	8	船阪 政義	出	23	佐々木 知恵子	出	38	小林 正	出			
	9	池上 喜恵	出	24	田畑 恵子	欠	39	井口 清吾	出			
	10	中村 永夫	出	25	中山 彩香	欠						
	11	北澤 健	出	26	宮原 勝	出						
	12	坪木 澄人	出	27	山岸 和豊	欠						
	13	林 典男	出	28	中村 一重	出						
	14	小澤 辰夫	出	29	唐澤 敦史	出						
15	三澤 惇夫	出	30	清水 功	欠							
署名委員	中村 永夫			北澤 健								
条例第10条の規定により出席した者	なし											
市側の出席者												
出席した事務局職員	地域創造課 課長 下平 明彦 地域創造課 地域振興係長 飯島 勝 地域創造課 地域振興係 橋爪 智美											
議 事	(1) 小グループでの課題検討について (2) その他											
配布資料	資料 No.1 グループ討議まとめ											

1 開会

副会長により、開会する。

(欠席の報告)

2 あいさつ (会長より)

前回に引き続いて、各グループに分かれそれぞれのテーマについて討議していただきたい。今年全国では台風・地震等で大きな被害が出た地域もある。この地域においても災害等に対して、安心・安全で住み良い地域づくりを目指しての地域協議会であるので、しっかり協議を重ねていただきたい。

3 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に10番 中村 永夫委員、11番 北澤 健委員を指名する。

4 会議事項

(1) 小グループでの課題検討について

(事務局)

グループに分かれて協議をしていただくわけだが、スケジュールでいうと次回2月初めの協議会でまとめていただく予定になっている。まとめ方については、お手元の資料に示したものを参考にまとめていただければと思う。

<グループによる検討>

<グループによる検討結果発表>

(グループ1) 「中心市街地の活性化について」

先日の11月25日に現地視察ということで、通り町を見ながら、高校生・大学生・それから一般の方等が集まって市街地について話し合いをした。それを基にグループ1で討議をしたわけだが、中心市街地の活性化を考えると、今まで中心市街地は駅前や通り町等の商店街を考えていたのだが、アマゾンなどの通信販売が大きな割合を占める中、商店を中心に動いていないのではないかという話になった。物を買うために集まる場所が中心市街地ではなく、もっと違うことで人は求め合うのではないか、人と話をするために集まるというようなことを、これからは求めていかなければならないのではないかということで、中心市街地という定義をもう少し検討して、その中でテーマについての討議も深めていきたい。今日の話し合いの中では、人と人が話し合える場所があれば、自然に足が向いて人が集まるのではないかという方向から、交流の場所が必要であろうと検討している。

(グループ2) 「地域の安心・安全について」

安心と安全というのは非常に広い範囲なので、交通、生活、食、犯罪、災害というくく

りで、安心と安全の阻害要因を出して、目指すべき安心・安全な状態を話し合っていく。その次に安心・安全の状態にするための重要課題を抽出していく。今回は、重要課題と各関係機関の取り組み方と提言内容のまとめを行っていきたい。

(グループ3) 「公共施設の在り方について」

昨年度の提言書として出された内容は、153号バイパスが開通するのに伴い、道の駅や防災施設・避難場所等の多目的施設を建設したらどうかという内容であったが、今日の検討の中では道の駅を建設しても集客は難しいのではないかという意見が出された。今現在、竜東地区の市民が1番求めているのは、まずは防災施設であり、消防車両や救急車両である。これを求めるのを主にして検討をしていく。ついではその施設に併せて、道の駅やコミュニティーセンターなどが付随して建設されれば良いという方向になった。

(グループ4) 「地域のつながりについて」

昨年度までは特に高齢者のひきこもりを解消しようということを中心に話し合いをしてきたが、今年度はもう少し範囲を広げて、介護弱者・交通弱者の支援ということで、送迎ボランティアを考えていったらどうか。実際にボランティアがいる地区もあれば、いない地区もあり、また公共交通が完備されている地区もある。その中で解決策をまとめるのは難しいかもしれないが、検討していきたいということになった。もう一つは最近一人暮らしの未婚者が増加しているという状況が、少子高齢化の一つの原因になっているのではないかということから、昔は地域の高齢者が相手の方を紹介して取りまとめることがあったが、これから昔と同様に紹介するというようなことができるのかということについても話し合っていきたい。時間が非常に限られているので、課題の絞込みを中心に3月まで活動していきたい。問題解決の方策については検討するのは、来年度にずれ込んでも構わないであろうということで賛同を得た。

(会長)

各グループとも充実した検討ができたのではないかと思います。

5 その他

(事務局)

平成31年度の「協働のまちづくり交付金」についてだが、事業の募集期間は今年の場合2月1日から3月10日までであった。同じように2月から3月上旬ということで来年度の事業の募集をしたいと考えている。市報の発送に合せて募集の回覧を回す予定でいるので、お含みいただきたい。

6 閉会

(副会長)

以上を持ちまして、第5回の伊那地域協議会を閉会とする。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

平成30年12月14日

平成30年度 第5回伊那地域協議会 会議録

会 長 _____

会議録署名人 _____

会議録署名人 _____